

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172900862		
法人名	有限会社シエナリゾート		
事業所名	グループホームことぶき ユニットⅠ		
所在地	北海道旭川市3条通21丁1973番10		
自己評価作成日	平成25年12月19日	評価結果市町村受理日	平成26年1月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0172900862-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジエント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成25年12月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出の支援・・四季折々に外出をし、体力の保持、気分転換、五感刺激の為に一年を通じて実施している。(河川敷で野鳥観察・花見・いちご狩り・花壇公園の散策・上川神社祭・3条15丁目七夕祭り・美瑛の丘・紅葉狩り・公会堂の民謡、歌謡など)
施設内の行事・・入居以前から行っていた日本古来の風習に沿った行事は一年を通じて行っている。(正月の食事・節分豆まき・雛祭り・彼岸のおはぎ作り・端午の節句・花壇造り・家庭菜園・七夕飾り・夏祭り盆踊り・敬老会・月見・時期の漬物・Xmas会・年越し・他にボランティアさんによる演奏会・紙芝居など)
食事は(行事食、イベント食も含め)個々の要望を取り入れながら、職員が献立、買い出し、調理まで、旬の食材を吟味、手作りをし、味付けや盛り付けに配慮している。

＜外出支援の重点的な取り組み＞

入居者の体力保持や気分転換を目的とした施設での外出の企画をはじめ、一人ひとりの体調とその日の希望に沿って、河川敷や花壇公園の散策、各種のお祭り見学など、戸外に出かけられるよう積極的に支援している。また、職員にとっても、屋内だけのケアの状態ではストレスを蓄積しやすくなり、短時間でも戸外の機会をつくり、入居者と職員の両方にとってのストレスの発散、五感刺激を得られる貴重なチャンスとして捉え、日々の生活を活かした特徴的な取り組みをしている。

＜施設内での多彩なイベント企画＞

常に、張り合いや喜びの有る日々を過ごせるよう、四季折々の日本の風習に沿った年越し・正月料理の準備や節分豆まき、ひな祭り、時期の漬物漬けなど多くのイベントを実施し、本人の気持ちや力を活かした場面づくりと、一人ひとりの役割、楽しみ事を作り出す職員の企画と働きかけにより、気分転換などの支援となっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができて いる (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の 理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

ユニット I

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を掲示し、事業所で働く職員全員が理解し、意識を持ちながら実践している	地域密着型サービスの事業所として、独自の理念をつくりあげ、その理念を共有して毎日のケアにつなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の行事など積極的に参加したり、事業所の行事を案内し、来て頂いている	町内会に加入し、地域の行事の参加や会員として公民館活動にも送迎して参加し、地域のつながり・交流に努めている。また、地域の方も事業所の行事に参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域行事などに参加した時に実践経験を活かして相談にのったり、アドバイスを気軽に提供している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、地域との協力体制を話し合い避難訓練などの参加で地域住民の方に協力を求めている	年6回を目安に開催し、運営に関する報告や事業所の取り組みと利用状況など具体的な内容について話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	包括センター主催の研修会には必ず参加し、情報の交換をして積極的に連携を図っている	市担当者とは、日常業務を通じて情報交換で協力体制を築くように取り組んでいる。また、包括支援センター主催の研修会には積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関施錠の時間帯はあるが危険を伴いやむを得ない時に限りご家族の納得の上で事業所の方針を示している	内部研修で周知・共有が行われており、玄関の施錠についても身体拘束であることを認識し、安全確保しながら自由な暮らしを支援するための工夫に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士で普段から入居者に対する態度、言葉遣い、不適切なケアについて話し合いをし認識している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度が必要と思われる利用者には、アドバイスを行いながら支援をしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、不安や疑問が生じない様、詳しい説明を行い同意を得ている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来所や直接意見、不満、願い事を気軽に伝えられる様な雰囲気づくりに配慮している	来訪時に意見や苦情等を言い表せるような雰囲気作りに努めており、苦情や要望を伝えられるように意見箱の設置もしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング他、日常から職員の意見を十分に聴きコミュニケーションを図る様に心がけ働きやすい環境に配慮している	職員の意見や要望を、日頃の業務の中で話し合う機会を設け、働きやすい職場環境づくりに努めている。また、管理者と職員との個別面談を実施して、意見や提案を聞く場を設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本人の意向を重視しながら資格取得の支援などを行い向上心を持って働ける様な環境づくりに努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には全員の職員が交代で参加、受講できる様に配慮している。終了後には報告書の提示もし職員に周知している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム見学、行事参加し、事業所外の交流をし、意見交換、経験をケアに活かしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	今までのご本人の生活状態を把握、理解をし話し合い、信頼関係を築けるようにつとめている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の心配や思いを受け止め、要望を聞く様に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の思いや状況を見極めながら、必要なサービスにつなぐ様努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の思いや不安などを理解し共に支え合える関係を築ける様努めている		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に、日頃の生活状態をこまめに報告し、又、家族と同じような思いで支援している事を伝える		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	一人一人の生活習慣も尊重している	友人、知人が気軽に来所できる環境を整え、馴染みの場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性について、全ての職員が共有できる様にしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所(病院等)に移られた場合、支援情報を提供すると共に情報交換を行っている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、職員同士が連携して一人ひとりの思いや希望を叶える様に努めている	本人の思いや意向を把握し、職員間で情報の共有を行い、一人ひとりの思いや希望が叶えられるよう支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族に今までの生活、暮らしを聞き、より良く暮らせる様に支援している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のリズムを見極めて行動や体調の変化を把握している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族の訪問時には、日々の生活状況を伝えていて、その他に、ご家族と意見交換、カンファレンスを行い、ケアプラン、モニタリングを行っている	本人や家族の意向や要望を取り入れ、職員間で意見の交換をして介護計画に反映するよう努め、カンファレンス、モニタリングを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日中の様子や変化を個別のケース記録に記載して、ミーティング等を行い、情報を共有しながら実践している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人のニーズの違いやご家族に合わせた、様々な支援が出来る様に努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人の希望や力量に合わせて、地域資源の活動に参加をし心身の力を発揮できる様に支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族や本人の希望を尊重し、かかりつけ医による定期受診を行い本人が安心して生活ができる様にしている	家族や本人の希望を尊重し、定期健診や通院への支援や協力医療機関との連携で、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員同士で常に報告、連絡、相談を行っている。定期受診時にも出来るだけ詳しく近況を報告するよう努めている。緊急時も速やかに対応をしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の様子を家族と連携し、把握するようにしている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化に伴う支援体制は医師や家族、職員と連携し、医療行為を必要とするまで支援を怠らない	重度化に伴う支援体制は、早い段階から本人・家族等と話し合い、同時に医師、職員と連携を図りながら、事業所ができることを十分説明し、医療行為を必要になるまで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	各入居者さんの身体状況を把握し、常に適切な対応が出来る様に努めている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を行い、自然災害にいつでも対応出来る様、全職員が取り組んで訓練をしているその際、近隣の地域の方との連携もとれている	避難訓練を年2回実施し、昼間・夜間を想定した避難訓練を実施しており、地域の協力と連携が得られるように取り組んでいる。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に個々に対する人格を尊重し、プライバシーを損ねない様に配慮する言葉かけに気をつけている	個々の人格を尊重し、プライバシーを損なわないように、その人に合わせたケアを行うよう心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人が自由に表現出来る様な環境になる様見守っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人個人の方のペースに合わせていき希望にそえる様支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一日の身だしなみを確認し、行事、入浴の際、服にも気をつけながら選び、おしゃれができる様見守る		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と一緒に育てた野菜等を入居者と話をしながら料理に取り入れ、料理の見た目、彩り、味バランス、五感の刺激にも心がけている	一人ひとりの好みを聞きながらメニューに取り入れ、入居者の体調や出来る範囲内で片付けや食事の準備など楽しんで行えるよう支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の体調に合わせて分量、硬さ、刻み、お粥等の対応、入居者との会話を多くし、好みを聞き調理に活かしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔の清潔を保てるよう毎食後本人の習慣や力に応じたケアをし、困難な方は状況にあわせ働きかけ行っています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	下着、オムツ、パッドなど一人ひとりの状態にあわせて使い分け、排泄のパターンを把握し、その人に合わせた排泄の自立支援を行っています	排泄パターンを把握しながら、夜間でも声かけによるトイレでの排泄を促進し、オムツの使用を減らす自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の便秘の原因を考え飲水量や食事などを工夫し、日常的に取り組んでいます		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴時の温度設定、湯冷めしない様に配慮、一人一人の体調に応じた誘導で入ってもらう	入浴日を設定しているが、一人ひとりの希望や体調に応じた誘導で、入浴が楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝にむけて睡眠パターンを把握し、安心感、又安らぎを得るよう雰囲気作りを大切に言葉かけや対応を工夫しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の目的、内容を理解し、医師の指示どおり正しく服薬できるよう慎重に点検を行っている。状況の変化も見逃さない様に確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意分野で一人ひとりの力を出してもらえる様に支援、もやしの芽取り、食器洗い、おしぼりたたみなどを行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者の身体状況をふまえ、できるかぎり希望をそえるように支援している。希望とのギャップが大きい時は代替の場所を提案するなど工夫している	施設での外出の企画や入居者の身体状況をふまえて、一人ひとりのその日の希望に沿って、日常的に外出支援をしている。特に、四季が感じられるように季節に合わせた行事を実施されており、家族との旅行も支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理の可能な入居者には少額で買い物等で自ら支払をして楽しめる様に支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	部屋に電話の無い方には、職員が繋いで、スムーズに思いが通じる様にしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、写真などを工夫して飾り、過ごしやすい空間づくりを行っている	季節感のある生け花の飾りや行事参加の写真の掲示などで居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、共用スペースでのソファやテーブルは、入居者同士や独りでもくつろげる様に工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	いつでもホールに来て自分の席で過ごしたり、ソファに座り、テレビを観て過ごすことができる様にしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使用しているものを、可能な限りそのまま使って個性豊かな居室づくりをしている。	使い慣れた家具や寝具、仏壇や家族の写真等が優先して持ち込まれ、本人が居心地よく安定して過ごせるよう個性ある居室作りに努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	見守りを重視して、その状況に適した声かけができるよう努力している		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172900862		
法人名	有限会社シエナリゾート		
事業所名	グループホームことぶき ユニットⅡ		
所在地	北海道旭川市3条通21丁1973番10		
自己評価作成日	平成25年12月19日	評価結果市町村受理日	平成26年1月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0172900862-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジエント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成25年12月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出の支援・四季折々に外出をし、体力の保持、気分転換、五感刺激の為に一年を通じて実施している。(河川敷で野鳥観察・花見・いちご狩り・花壇公園の散策・上川神社祭・3条15丁目七夕祭り・美瑛の丘・紅葉狩り・公会堂の民謡、歌謡など)施設内の行事・入居以前から行っていた日本古来の風習に沿った行事は一年を通じて行っている。(正月の食事・節分豆まき・雑祭り・彼岸のおはぎ作り・端午の節句・花壇造り・家庭菜園・七夕飾り・夏祭り盆踊り・敬老会・月見・時期の漬物・Xmas会・年越し・他にボランティアさんによる演奏会・紙芝居など)食事は(行事食、イベント食も含め)個々の要望を取り入れながら、職員が献立、買い出し、調理まで、旬の食材を吟味、手作りをし、味付けや盛り付けに配慮している。

Ⅶ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します											
項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印			項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掘んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と				
			2. 利用者の2/3くらい				2. 家族の2/3くらいと				
			3. 利用者の1/3くらい				3. 家族の1/3くらいと				
			4. ほとんど掘んでいない				4. ほとんどできていない				
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通い場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように				
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度				
			3. たまにある				3. たまに				
			4. ほとんどない				4. ほとんどない				
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の 理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている				
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている				
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない				
			4. ほとんどいない				4. 全くいない				
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が				
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない				
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない				
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が				
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない				
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が								
			2. 利用者の2/3くらいが								
			3. 利用者の1/3くらいが								
			4. ほとんどいない								

自己評価及び外部評価結果

ユニットⅡ

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を全員で共有して毎日のケアにつなげている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	入居前からの地域のつながりは引き続き支援し、公民館活動など送迎をして参加している		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会の役員をしたり会合では認知症に理解が出来る様に話をしたり、地域住民との関わりをもっている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、町内に緊急時の避難協力などをお願いし、ご家族からの意見、要望を受けて意見をサービス向上に活かしている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者とは日常業務を通じて協力体制を築き、包括支援センターとは積極的に情報交換をし研修会の参加をしている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	指定基準における禁止行為は内部研修などで職員全員が理解をし身体拘束はしないケアに取り組んでいる		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修を受けたり、日常生活において職員同士で不適切なケアになっていないか、常に注意を払っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度の研修も受け、必要と思われる方には関係機関とも手続きが円滑にすすむ様に協力している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には丁寧に説明をし、医療体制や重篤により解約についても十分に理解をはかっている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が来所しやすい雰囲気づくりに配慮している。意見、不満などを言いだし難い環境にならない様に、密にご家族との交流を設けている		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	変化する入居者、ご家族との状況に沿って柔軟にケアしていく為に、職員からの意見や情報をしっかり取り入れている。管理者と職員との個別面談をし提案の出し易い環境づくりに努めている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の資格取得に支援を行い、勤務状況や環境には配慮をし無理の無い勤務体制をとっている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は、職員の力量に合わせて参加し、報告書を提示して職員に周知している。実務研修には職員が率先して申し込み受講している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職員も他のグループホームの行事に参加して勉強の機会をもち、グループホームケア研究会に加入をし、意見交換などの活動に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	現在おかれている状況を把握し常に要望を聴きながら、ご本人の行動を見守り不安を取り除き信頼関係をきずいていく		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が何を困っているのか、求めている事を理解し密に話し合いをしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	環境になじんでいける様に好み趣味を把握し、公民館活動などの社会資源の案内を行う		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食後の食器片づけや食材の下ごしらえは、暮らす同士として共同でおこなう		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	状態を常にお伝えし情報共有しながら、必要に応じて一緒に外出をして頂くなどの、絆を大事に考えている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人に電話を繋いだり、季節ごとの行事にご案内をして気軽に来所できる環境を保ち、来所時にはお茶などの接待を欠かさない		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士でのトラブルもあり、職員は見守り、話を傾聴しながらフロアーで楽しめる様にその場の雰囲気と和ませる		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後のご家族にも、行事の案内をして参加されている。ご家族からウェスや袋などの提供が多く有る。その後の訪問も欠かさずおこなっている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や想いを把握し、買い物などの要望があれば一緒に出かけている。外出の申出、手伝い要望があれば職員と一対一でも実行している。部屋で過ごすのが安らぐ方には、強要せず声かけしながら見守る		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族からの情報を聴きながら、今までの公民館活動などには、続けて参加をしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の心身状態を職員間で情報共有し、生活リズムを保持している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族やご本人の意見、要望を取り入れ、職員間で意見交換や、カンファレンス、モニタリングを行っている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	状態の変化や職員の気付きは個々のケース記録に記載し、それを基に職員間の情報共有をしながら介護計画を見直している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	変化するニーズに沿って、それぞれ違ったサービスをおこなっている。(必要に応じて個別にセンサーを設置して動きを感知する)		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	職員の見守りが無くても外出して楽しめる方は、公民館活動「ふれあいサロン」に送迎している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの掛かりつけ医を引継ぎしたり、協力病院に変更をしたり、医師との信頼関係を保ち、定期受診、突発的な受診にも対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	表情、体調の変化、バイタルサインを感知しながら気づいたら適切に受診している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した場合は、病院の環境に不安にならない様に見舞い、ご家族や病院関係者からの状態確認をして早期に退院が出来る様に相談している		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化に伴い、ご家族の意向を確認しながら、医療行為が必要となるまで支援をおこなっている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は自発的に救急救命の講習などを受講して、緊急時の対応にも備えている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災時の避難訓練は昼間、夜間設定と行い、消火器を使った消火訓練も行い、地域住民にも避難後の保護などについて協力を依頼している		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人の気持ちを大切に考え、さりげないケアや自己決定しやすい声掛けを心がけている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉や顔の表情、動作から想いや気持ちを読み取り、意思表示の出来る様に寄り添っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、食事、入浴などの行動は、個々のその日のペースや体調に配慮しながら対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出を積極的に実施し、季節や好みに合わせた服装を選んだり化粧を促しておしゃれを楽しめる様に助言している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の好みなども聞き、メニューに取り入れている。食後の片づけは体調に合わせて行っている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調に合わせて、お粥、刻み、ミキサーと分け一人ひとりの食事量、水分量をチェックしながら個々に応じた食事支援をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き、夜間の義歯洗浄を声かけ確認し、個々に合わせた介助をしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	夜間でも声かけにて誘導し、トイレ排泄を促してオムツ使用を減らしている。意思疎通が無くても、トイレ誘導をし、トイレでの排泄を支援している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便チェック表を確認しながら、水分や食材に配慮し、必要に応じて病院処方の下剤を服用して便秘予防をしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	その日の体調、希望に沿って入浴を楽しめる様に支援している		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、生活リズムを整える様に努めている。夜間の不眠支援では、夜勤者が話をしたりお茶を飲んだり、一緒にテレビをみたりして眠れるまで一緒に過ごす		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診し処方後に、薬の内容、副作用を把握し記録して職員間で周知している。服薬後に症状変化があった時は、医師に確認し指示を仰いでいる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意分野で調理の下準備、食後の片づけ、漬物漬けなどの個々の力を発揮できるように役割を配慮している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人の希望で買物、天候によってドライブなどは日常に出かけている。ご家族との旅行も支援している。四季を感じられる様に、季節に合わせた行事を実施している		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	通院時や買物外出の際には自ら支払をして、出来る能力を維持している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	居室に電話設置の方、携帯を所持している方は自由にご家族と連絡を取っている。無い方は事務所で繋いでいる		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前の生活を聴き、活かしながら共用スペースでも心地よく過ごせる様に、季節感の生け花などを飾り、テレビは見やすい位置に配置している。廊下のスペースには、椅子を置き、歩行運動などで一旦休憩が出来る様にしている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールのソファや食堂テーブルの配置により、入居者同士でも独りでも、くつろげる様に工夫している。廊下のスペースには、椅子などを置き、歩行運動などで一旦休憩が出来る様にしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際には、自宅で使用していた物を優先し仏壇なども配置して、安定した生活を送れる様にしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々に、廊下の歩行運動などを行い、安全に配慮して現状を維持でき自立した生活が送れる様に支援している		

目標達成計画

事業所名 グループホームことぶき

作成日: 平成 25 年 12 月 20 日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	29	月1回の地域資源に、心身の力があるのにも参加されない方に、出かけて違った環境も感じて頂きたい	経費がかかる為にご家族の意向も配慮しながら、無料で楽しめる資源活動も選出している	集団に交わっても楽しめる心身状態の方の見極めをし、参加している方のお話を聞きながら雰囲気を感じて頂く	1年
2	37 38	入居前の地域での関わり場所に出かける要望が有っても、時間の制限や行先を固定している。冬季の外出が減ってしまう	行く先などは、個々の要望に添えるようにする	ストレス発散などの為に、職員も一緒に気分転換が出来る環境を整え、外出、外食の機会をもっている	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。